



霊峰石鎚山 お山開き大祭

毎年の如く、霊峰石鎚山参拝お山開き大祭（令和六年七月七日～八日）に行つて参りました。神仏習合の霊山、修験道場としてお大師さまをはじめ高僧が修行、朝廷諸将にも篤く崇敬されてきた、日本七霊山の神体山です。例年、七月一日～十日のお山開き大祭は全国から数万人が登拝、この度コロナ禍も明け、大変賑やかな参拝となりました。お山には鈴の音、法螺貝がこだまし、白装束の登拝者で、正しく石鎚山の「動」なる時を肌で感じてきました。又、今回は天候にも恵まれ、石鎚山頂上社より「天狗岳（1982m）」の方まで足を伸ばすことができ、有難い参拝となりました。



石鎚山参拝 (R6. 7. 7～8 総勢15名)



石鎚山天狗岳

令和7年(2025)
第59号

発行			
広島新四国八十八ヶ所霊場 第三十二番札所			
霊亀元年(奈良時代七十五年)開基 ～府中真言宗観音さん～			
箱島山	小出田	真真真	正観寺 行弘 覚
小吉	田	真真真	

「お知らせ」

十月に母古田ナツエ「正観寺前住職妻」（戒名 安久院花裁貫季大姉）が九十七歳にて永眠いたしました。生前に賜りましたご厚情に深くお礼申し上げます。

朝に礼拝 夕べに感謝

今日の幸福は先祖のおかげ

一日のはじまりは、先ずご仏壇（仏さま）にお参りをし、手を合わせ、今日一日をみ仏の教えに従い、精一杯生きていくことを心に念じ、今日一日の平穏を祈ります。

一日の終わりに、今日一日を無事に過ごせたことを、仏さま、ご先祖さま、そして今亡き人に感謝をする、今日一日を精一杯生かされたことを感謝します。

毎日、ご仏壇に手を合わせるのですから、毎日お参りしたくなるご仏壇になるように（例えば、かわいいお地藏さんを置いてみたり、香りの良いお線香を使ってみたり、etc.：何でも良いお線香を使ってみたり、工夫をしてみたいと思います。

如何が己身の膏肓を療せずして、
たやすく他人の腫脚を発露すや。
『二教指帰』

お大師さまは、「道うことなかれ人の短、説くこと無かれ己の長（人の短所をあげつらうな、自分の長所を自慢するな）」という中国のことばを自らの座右の銘にして、とても大事にされていたということ。
人の悪口をけつして口にしないよう心がけましょう。

高野山

昨年、令和六年四月二十八日(日)～二十九日(月)に、正観寺団体参拝としては七年ぶりに聖地「高野山」にお参りして参りました。「高野山」の霊気を肌で感じながら、神秘的な空間を体験いたしました。根本大塔を中心とする壇上伽藍、総本山金剛峯寺、奥の院を中心とする参拝を、お大師さまの御加護を頂戴しました。宿坊は不動院に泊まり、精進料理（不動院の精進料理はとにかく美味しくて人気）、朝の勤行を体験し、非日常的な雰囲気皆さまで味わいました。

当日は、旧正御影供（お大師さまが奥の院にご入定されました旧暦三月二十一日）に当たり前夜祭御逮夜法要、萬燈萬華会にも参加し、とても有難い巡拝、同行二人常にお大師さまが側にいてくださるグになりました。



高野山参拝 (R6. 4. 28～29 総勢12名)

宗教心

〜菩提の種を蒔い〜

現代の日本は心の充足から物質的な豊かさに変わっていき、宗教心が薄れてきている時代といわれています。高度経済成長期から急激に進んだ核家族化も影響しています。宗教心とは親から子へ、子から孫へ、受け継がれていくものです。地方の家には、たいてい先祖代々の位牌や過去帳を安置したご仏壇が置いてあり、毎朝お仏前にお供えして、手を合わせているご家庭が沢山あります。そのような日常が宗教心を育んでいます。

ご葬儀やご法事を大事にするこも、立派な宗教心を育てる場でもあります。宗教心を持つことは、自分ひとりで生きているのではないと肌で感じることであり、ご先祖さまから続く縁に感謝することです。だからこそご先祖さまに、そして周囲の人たちへ感謝をする場であるご葬儀やご法事を大切にしてくださいませようお願いします。

又、各寺院・神社にも様々な行事がございます。神も仏も大事にする日本、神と仏が共存している日本の祈りの心を大事にしていきたい。是非お子さま・お孫さまもお誘い合わせの上、どうぞお参りください。

水子地蔵

正観寺には、ご存じの通り境内に水子地蔵さんがいらっしやいます。お寺で以前、水子供養をされた方が、境内に水子地蔵を作り安置したい、永代的にご供養をしたいというお声から発願した経緯がございます。毎日三六五日、水子地蔵にお参りされる方が多くいらっしやいます。(もちろん水子地蔵を作っていない方も多数いらっしやいます。)

子供さんのお菓子、時期によってクリスマス・ハロウィンなど旬のお菓子やぬいぐるみが沢山お供えしてあります。新鮮な生花も飾ってあり、非常に賑やかです。

水子地蔵さんの赤い帽子、赤い前掛けも篤信徒さまが一つ一つ手作りをして、定期的に奉納して下さっています。大変にありがたいことで、お地蔵さんも喜んでおられると心より思います。

定期的にお地蔵さんに会いに来られる皆さま方を見て、お寺としても非常に嬉しく思います。これまで通り、いつでもお地蔵さんに会いに来てくださること、心よりお待ちしています。正観寺でも、年に一度お地蔵さんに日頃の感謝をさせていただく「地蔵まつり」をしています。又、新たに水子地蔵を奉納したい方がおられましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

大柴燈護摩

正観寺は、現在四月の第二日曜日に「観音大祭」として大柴燈護摩法要、火生三昧、火渡りを行っています。

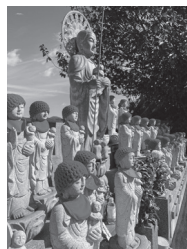
その大柴燈護摩法要では、近隣の真言宗寺院さまにご助法頂き、後は正観寺の檀家さんや信者さんでもあります「修験先達」の皆さまにお手伝いをしていただいています。斧作法や法除作法や法弓作法など様々な役割を先達さまに披露してもらい、法要が無魔成就できますように研鑽を日々重ねております。先達さまとは石鎚山に登拝して行を積み、正観寺以外にも可部の「福王寺」さま・府中の「道隆寺」さま・戸坂の「松笠観音寺」さま・呉の「観音寺」さまに足を運び勤めております。各お寺の大柴燈護摩にお参りされる参拝者の方が「お寺に来て、火渡りをしてよかった」と思つて頂けますよう今後とも精進してまいります。



修験装束



観音大祭 大柴燈護摩 火渡り (R6. 4. 14)



水子地蔵

きゅうり加持と小豆島八十八ヶ所霊場巡拝のご案内

きゅうり加持は、お大師さまが今から約千二百年前人々から病の根を断ち切って、病苦を和らげ、それぞれの役目を担って健康に長生きできるようにとのご誓願から、不動明王を御本尊として始められた真言密教の秘法です。水分が多いきゅうりの中に願い事を込めて、護摩の炎で御加持をし、ご祈祷します。ご祈祷の後に境内の「きゅうり塚」の下、土中に埋め、そのきゅうりが腐って土に還るころ、願い事が成就すると伝えられています。本来であれば、きゅうり加持は夏の土用の丑の日近くに拝むのが一般的ですが、昨今の夏の猛暑を考慮しまして（余談ですが、猛暑により令和六年度は彼岸花が秋の彼岸には全く咲かず、十月以降に満開になり、初めての経験をいたしました）、正観寺では秋の「地藏まつり」の中に取り入れて拝むようにしております。ご了承くださいのほどお願い申し上げます。

又、正観寺が以前毎年参拝してまいりました小豆島霊場四十番札所「保安寺」さまが、有名なきゅうり加持を厳修されております。話は変わり、令和七年度は正観寺としても久々に島遍路「小豆島八十八ヶ所霊場」を秋の紅葉の時期に参拝したいと計画しておりますので、皆さまのご参加をお待ち申し上げます。



地藏まつり きゅうり加持 (R6. 10. 13)

動物供養塔

この度、新たに動物供養塔を建立いたしました。永年、家族同様に暮らしてこられたペットのご供養を賜ります。納骨法要をとり行い、ご供養いたします。



動物供養塔

「境内地墓地」「本堂 納骨堂」「永代供養塔」について



◎境内地墓地 本堂納骨堂 永代供養塔 空きがございます。新たに、本堂裏（右側）に、納骨堂の増設をしました。

↑NEW（納骨堂増設）

—新元号「令和」記念— 「やすらぎ観音さま」の ご奉納について

「やすらぎ観音さま」のご守護を頂戴し、日々の安心の糧にしてみたいかがでしょうか。
本堂内にご奉納されても、仏さまをお持ち帰られて、各ご家庭でお祀り頂いても結構です。
台座の記載はいかようにも対応致します。

現在、約八十体弱のご奉納を頂いています。まだまだ数に余裕がございます。



令和七年度 年間行事予定表

六		五		四		三		二		一			
	十八	二十一	一〇三十一	十三	一〇三十一	十六	中旬		二	十八	一〇三十一		
	観音ご縁日 <small>(青葉祭り 弘法大師降誕会)</small>	弘法大師ご縁日	十三詣り	観音大祭 <small>(ご本尊供・大柴燈護摩供法要 火生三味火渡り・福餅まき)</small>	十三詣り	春季彼岸会・永代合同供養祭	春季彼岸お参り		星祭り <small>(星供養節分会／北斗護摩祈禱)</small>	初観音ご縁日	修正会 <small>(初護摩祈禱)</small>		
十二		十一		十		九		八		七			
	十八	十八	一〇三十一	二十六	一〇三十一	二十一	中旬	十五	上旬	十八	六〇七		
	年越祭 <small>(除夜の鐘)</small>	納観音ご縁日	観音ご縁日	小豆島八十八ヶ所霊場巡拝 <small>(秋の紅葉)</small>	七五三祝禱	地蔵祭り <small>(演奏会・護摩供法要 施餓鬼供養・きゅうり加持祈禱)</small>	七五三祝禱	秋季彼岸会・永代合同供養祭	秋季彼岸お参り	秋季彼岸お参り	孟蘭盆会 <small>うらぼんえ</small> ・永代合同供養祭	盆お参り	霊峰石鎚山参拝 <small>(お山開き大祭)</small>

《月例行事予定表》(変則的、要確認)

- 一、御本尊「聖観世音菩薩」ご縁日
 「諸供養・諸祈願(護摩祈禱)・昼食(弁当)お接待有」
 ◎毎月 十八日 午前十時半
 十八日が日曜・祭日の場合
 お大師さん「弘法大師」ご縁日
 二十一日 午前十時半
- 二、高野山金剛流御詠歌教室 月二回程度(不定期)
 平日昼間 午後十三時〜十五時

《随時受付中(宗派不問)》

詳細はお寺までお問い合わせください。
 境内地墓地・本堂納骨堂・永代供養塔
 水子納骨堂・水子地蔵尊・やすらぎ観音
 正観寺会館(葬儀会場)／(仏前結婚式会場)
 先祖供養・水子供養・永代供養・護摩祈禱
 厄除け・お焚き上げ・諸祈願・動物供養塔
 四国八十八ヶ所霊場お砂踏み階段・仏事全般 等々

〒739-0029 広島県安芸郡府中町茂陰
 二丁目二一八四
 TEL 〇八二二二八二五六六二
 FAX 〇八二二二八五五三〇
 Email: info@shokanji.com

広島 正観寺 検索



ホームページ



公式 Instagram

- ・新大州橋・イオンモール広島府中
(旧ソレイユ)近く
- ・広島高速二号線
- ・府中出入口(温品JCT方面出入口のみ)下車二分
- ・大州出入口(仁保JCT方面出入口のみ)下車二分
- ・JR天神川駅下車徒歩七分
- ・バス停「新大州橋」府中大橋「下車徒歩三分
(駐車場有り) 正観寺